

千曲の友 Vol.06

交通系サークル 539人たす 会報誌



まえがき

この会報誌『千曲の友』は通算6冊目で、今回はC100に合わせた発行となりました。記念すべき100回目のコミックマーケットに出展できる事を誇りに思います。残念ながら新刊が間に合わなかったメンバーもいましたが、忙しい中寄稿してくれたメンバーにまずはお疲れ様と言いたいです。

そして数あるサークルの中から『らるりんたす』にお立ち寄り頂き、そしてこの会報誌を手にとって頂きありがとうございました。少ない分量ではございますが、“ジャンルのごった煮”をお楽しみ頂けましたら幸いです。

(文責：三島慶幸)



もくじ

- P2 日本一長い路線バス 八木新宮特急バス (いろはす)
- P7 22年ぶりにベルーガが日本に飛来 (たんたか)
- P10 SA・PAのマックスコーヒー (三島慶幸)
- P11 名鉄の列車番号を考える (Tiger)
- P13 『スタ美容室』～銀座に残る築90年のビルの一室～(三島慶幸)
- P14 シェアサイクル、最近聞いたかも? (長沢幸雄)
- P15 たまには1階席もいかがですか? (くびきの)
- P17 日帰りで伊豆大島に行った話 (コアラ)

日本一長い路線バス

八木新宮特急バス いすはす



やってきたのは和歌山県 新宮駅。大阪から特急くろしおで4時間かけて紀伊半島を半周以上まわってきました。最寄りの南紀白浜空港からも遠いので、東京から一番遠い「市」と言われてしまうほどの不便さです。そんな日本一遠い市には、日本一長い路線バスが走っています。今回はこの日本一長い路線バスの乗車録をお届けします。

バスの起点は駅前の5番のりば。道路沿いの普通ののりばです。バスの行き先は奈良県の大和八木駅、十津川温泉を経由して、奈良県民ですら何ががあるかは知らないとまでいわれる秘境である奈良県南部を縦断する路線です。



八木新宮特急バス DATA

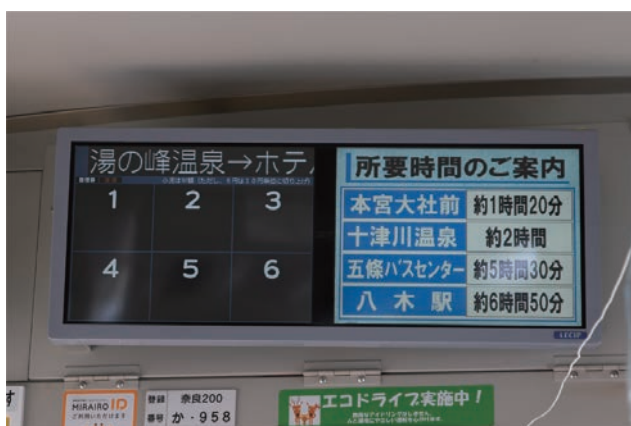
運行会社	奈良交通
路線名	八木新宮線
系統番号	301 / 302
路線延長	169.8 km
停留所数	168
運行本数	1日3本
所要時間	6時間50分
開通年	1963年
使用車両	日野ブルーリボン QDG-KV290N1 いすゞエルガ QDG-LV290N1

今回乗車したのは 9:59 発の最終バス。大和八木発は午後発もありますが、新宮発は 5 時台、7 時台と 9 時台しかなく、大阪からのくろしお 1 号、名古屋からの南紀 1 号のどちらでも間に合わないの、新宮発に乗るためには実質的に新宮に宿泊する必要があります。日帰り往復は不可能に思えますが、新宮駅 5:53 発であれば大和八木駅に 12:24 着となり、同駅 13:38 発の新宮行きに乗って新宮に戻ることができます。総乗車時間 13 時間半ですが ...



出発時刻の 10 分ほど前にバスが到着。かつては、高出力で大型短尺の日野ブルーリボン (U-HU3KLAA) が使われていましたが、2017 年に引退し、現在の車両に置き換えられました。専用車両として、沿線自治体のラッピングや車内設備の充実化はされていますが、以前のように高出力であったり、短尺仕様といった特別な違いはありません。

車内の座席はこんな感じ。全席ハイバックシートで、背もたれにはドリンクホルダーやネットホルダーといった、普通の路線バスでは見ない装備がついています。運賃箱は IC カード対応ですが、紙幣は通常通り千円札しか対応していないため、高額運賃となる当路線用に「紙幣入れ」なる別箱が設置されています。



運賃表もまだよく見る表示ですが、この先どうなることやら ... 所要時間のご案内などという普通の路線バスではまず見ない案内に表示されているのは 6 時間 50 分という恐ろしい時間。朝便や土休日の下り便は 6 時間半でたどり着きますが、平日便は 7 時間近くかかってしまいます。

9:59 になるといよいよ出発。この時点での乗客は自分を含めて 2 名のみ。

バスは新宮駅周辺で 2 つ停留所を通り国道 168 号に入ります。30 分近く停留所はなく“特急バス”を感じられます。運賃もいきなり 930 円に上がり、この先の長さが不安になります ... バスは時折国道からそれて集落を通りながらどんどんと山を登っていきます。



出発から1時間ほどで渡瀬温泉を通過すると狭隘な山道に入ります。熊野古道の大日越という場所で（バスルートは古道とは別）この路線随一の狭い区間に入ります。途中で対向から車が来て立ち往生する場面もありました。

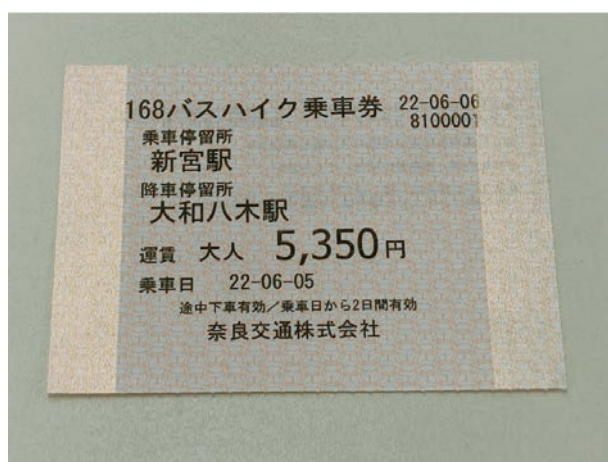
この区間をこえると熊野本宮大社に到着します。本宮大社でも誰も乗降せず乗客は二人のまま先へ進みます。



本宮大社からほどなくして奈良県との県境を超えます。新宮駅を出発してから1時間半ほどで奈良県に入りましたが、これから5時間以上かけてひたすら奈良県を北上することになります。いやー遠い... 奈良県南部は県面積の65%を占めますが、人口割合は9%という圧倒的秘境なのです。県庁所在地まで時間のかかる町はかすあれど、バスで5時間半とそこから電車で1時間の6時間半もかかる町はなかなかないのである？そんなことを考えているうちに十津川温泉に到着。ここでは10分の休憩があります。高速バスの休憩のように「〇分に発車します」とアナウンスされ、自由に外に出ることができます。バス停には足湯もあるので爆速十津川温泉体験をするのがオススメ！バス停の前からはダムで堰き止められている十津川と深い山々の景色が望めます。



さて、この路線は単にバスマニアが「日本一長い路線バス」ともてはやしているわけではなく、奈良交通も前面に出して PR しています。そのため全線を一本のバスで途中下車することなく（休憩で車外に出るのは OK）完乗すると記念証をもらうことができます。これは新宮乗車時に運転手さんから目的地を聞かれ、大和八木と答えると十津川温泉の営業所で記念品を受け取れます。記念品は全停留所がかかれた長ーい路線図と、吉野杉で作ったしおりです。終点につく前に受け取れてしまうので、なんだかズルをしている気分になってしまいますが笑 もちろんもらってから途中で降りるなんてことはダメですよ！



さらにこの路線には“168 バスハイク乗車券”という、通しの運賃と同額で途中下車できる乗車券があります。二日間有効なので十津川温泉に泊まることもできますが、フリーパスではないので引き返したり区間を重複して利用することはできません。奈良交通の営業所等で購入できますが、新宮駅にはないので新宮発で利用するのはなかなか難しい乗車券です。十津川温泉営業所で聞いてみたところ当日分を発行できるとのことだったので、乗車証明として新宮発の乗車券を発行してもらいました。



休憩が終わり十津川温泉を出ると、奈良の秘境をバスは進みます。十津川沿いを走って行くと、十津川に設けられた風屋ダムが見えてきます。集落もほんのわずかしかない山中の国道をメインに、時折国道から外れて集落によりつつ1時間ほど走ると、2箇所目の休憩地点である上野地（うえのじ）に到着します。ここは比較的大きな集落で、3箇所の休憩のうち最長の20分休憩になります。今回乗車した3便目では13時半頃に到着するのでちょうどお昼ご飯を食べるのもってこいです。コンビニもないので事前にお昼ご飯を買っておく必要がありますが...



上野地には谷瀬の吊り橋という高さ 54m 長さ 297m ある、日本最長の生活用吊り橋がかかっています。観光用ではなく、実際に対岸の集落と行き来するために現役で使われている橋でこの規模のものは珍しいです。一度に 20 人以上渡ると危険との表記があり、両岸の警備員が常に人数を数えています。観光用の超頑丈な安心吊り橋と違って“リアルなスリル”が味わえる吊り橋です。20 分の休憩時間中に往復することはできますが、混んでいたりするとギリギリになってしまうので様子を見つつわたって見ることをお勧めします。



上野地から先も同じような風景が続きますが、途中閉君（とじきみ）では行き止まりの集落に向かい、切り返してから国道に戻るなど、特徴的なポイントになっています。閉君到着前には 2011 年の紀伊半島豪雨で大規模な土砂崩れが起き大きな被害を生んだ場所を目にすることもできます。

このまま山を下って行くと最後の休憩地点である五条バスセンターに到着します。



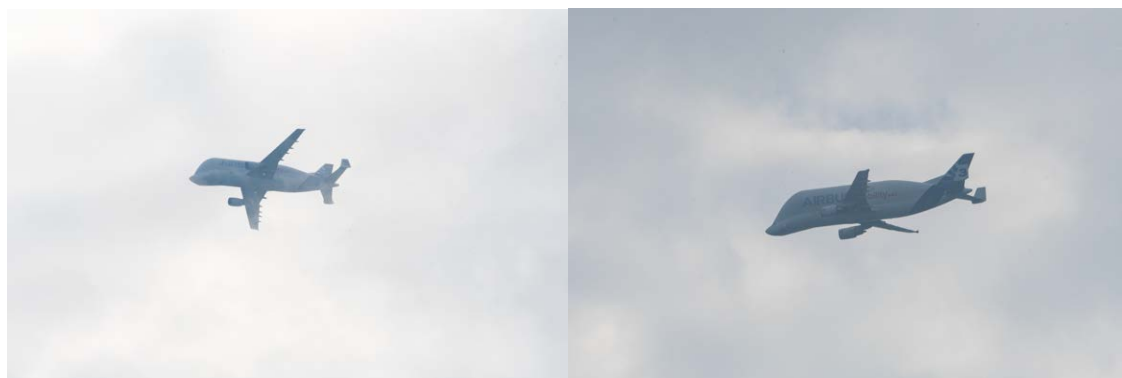
このあとはごく普通の街中を走る路線バスとなり、区間利用者も増えてきます。渋滞の影響も受け終点の大和八木駅には 1645 分に到着。所要時間 6 時間 46 分、運賃は 5350 円の路線バスの旅、一度試してみたいはかが？

22年ぶりにベルーガが日本に飛来

たんたか

2021年12月23日、ベルーガが日本に飛来するというニュースが飛び込んできた。ベルーガとはエアバス社の大型貨物機のこと、形が白イルカに似ていることからそう名付けられた。もし本当ならば22年ぶりの日本への飛来となるので、この瞬間を逃すまいと予定到着地である神戸空港へと向かった。最終便で神戸空港に着くとすでに飛行機マニアが数十人集まっていた。しかし22時ごろになると仁川付近で高度を落とし始めていることが発覚。結局その日、ベルーガは仁川に着陸した。私はポートアイランドにある神戸空港が見渡せるホテルで一泊して翌日に備えることにした。

2021年12月24日、レーダーを見ながらホテルの部屋にて待機。仁川から神戸までは1時間ほどで来ることが出来るのでレーダーに現れた瞬間、出動する作戦だ。12時になってもレーダーに現れず、ホテルをチェックアウトして神戸空港へ移動。展望デッキにはすでにたくさんの方が待機していた。13時になってレーダーにベルーガが現れる。しかしここで神戸空港ではなく関西国際空港に着陸する可能性が浮上する。神戸空港は国際空港ではないので一度関西国際空港に寄港した後、神戸空港に来ることも十分考えられる。過去にアントノフが神戸空港に飛来した際も関西国際空港を経由してから神戸空港に来ていた。しかし、レーダー上での行き先は神戸空港になっているので、混乱するマニアも多くいた。自分も連絡船にて関西国際空港に移動することも検討したが、翌日も予定が空いていることや万が一、神戸空港に直接来たときに後悔してもしきれないことなどを考えて結局神戸空港に残ることにした。14時になってベルーガは瀬戸内海上空にきたものの、高度的に関西国際空港に降りることが確実であり、私の読みは外れることとなった。しかし、関西国際空港の進入経路上に神戸空港があるため、もしかしたらベルーガが撮れるのではと思い、雲の隙間から出てくる瞬間を狙った。見事、雲の隙間から出てくるベルーガを撮ることに成功した。



駐機しているベルーガを撮影するため、連絡船にて関西国際空港へ移動。夜中も撮影しなかったため、本日の宿は関西国際空港のホテルにすることを決定。日付が変わり、雨が降り始めてからも、撮影に来る人はたくさんいた。



2021年12月25日、神戸空港での撮影場所確保のため連絡船で神戸空港へと向かう。私が空港に到着した時点で展望デッキには昨日の3倍以上の人がすでに待機していた。なんとか空いている場所を確保し、撮影の準備をする。9時ごろ、ベルーガから荷物を下ろすための機材がトローリングカーに牽引されているのを発見。



10 時ごろレーダーにベルーガの機影が現れ、関西国際空港を離陸。海から飛行機を撮る海関空組も結構いたらしい。10 時 54 分、ベルーガは神戸空港に着陸。空港西側の敷地に駐機した。展望デッキは大混雑でとても写真が撮れるような状況ではないので、空港を出て駐機している場所まで向かう。12 時 30 分ごろ、貨物室前部の扉が開く。14 時ごろ、今回の貨物であるヘリコプターが姿を見せる。着陸から荷物の搬出まで撮影できたのでこれにて私は帰還。珍しい飛行機を見ることができて大満足だった。





入口にどーん

SA・PA のマックスコーヒー

文・三島慶幸

館山自動車道で唯一のサービスエリアでもある、市原サービスエリアの下り線側には、ここ限定のマックスコーヒーコラボ製品が数多く存在し、マックスコーヒー好きなら一度は訪れたい場所となっている。



ここでは、千葉県鴨川市に所在する地元密着型の企業「さわらび」による食品がメインで扱われており、バイクドクッキー・ラスク・ケーキ・ジャム・ドロップスなど多種多様な商品が目移りするほど存在していて、非常に楽しい空間となっている。そしてその多くはこの市原 SA でのみ販売されているため、特産品としてお土産にも最適だ。



屋外売店の『マックスコーヒーソフト』も再現度が高く、ぜひ現地で味わってほしい。

市原 SA は一般道からもアクセスが可能なので、近隣在住の千葉県民も気軽にアクセスできるのも良ポイントだ。


東関東自動車道の湾岸幕張パーキングエリア(下り線)に今年、突如してマックスコーヒーの専用自販機が設置された。これは今から 5 年前の 2017(平成 29)年に、商業施設の『ららぽーと東京ベイ』に設置されたものと同様仕様のものである。



自販機はパーキングの建物入口のすぐ右手に置かれていて、相当目立つ位置に配置されている。ちなみに館内では『マックスコーヒーアイスモナカ』の取り扱いもあった。

湾岸幕張 PA は一般道からの立ち入りが不可能なため、この自販機は高速道路を利用して来る以外にアクセス方法が無いのが、宣伝には少々もったいない点である。

マックスコーヒーが マックス分かる本



マックスコーヒーが
マックス分かる本

『マックスコーヒー(マックス缶)』について、その誕生経緯から現在に至るまでのすべてをただひたすら書いた本です。歴代製品や広告はイラストで再現し掲載しています。

B5版・本文28ページ 頒価:1000円

100:1目録東・1-45a「ふるり人たす」

※このほか、8/14 の市原しほ同人誌バザールin大崎にて頒布
通販ではBOOTH・メルカリにて各10月以降に頒布予定です

名鉄の列車番号を考える

～名鉄岐阜発須ヶ口行きの場合～

Tiger

名鉄の列車番号は、左2桁もしくは1桁が時刻を表し、残りの桁が系統や通し番号を表す、といった付番方法をされる場合が多い。例えば1843列車であれば、右から2番目の「4」は系統の番号を意味し、右端の「3」は0から数えて2番目の奇数であるから、「名古屋を18時台に発車する『4』系統のうちで2番目の下り電車」という意味になる。ちなみに「4」系統は、津島線一名古屋本線（一西尾線）という系統であり、一部の列車は西尾線に直通しない。なお、重複をさけるため4000、6000などが足されることもあるし、常滑線・河和線を通る電車は「A、B、C、E、F、G」といったアルファベットが加えられるが、それを説明し始めるとスペースが足りないので割愛する。（鉄道では、上り電車の列車番号は偶数、下り電車は奇数という一般原則に従っている場合が多く、それについては前提としてご理解いただきたい。例えば東京駅を6時に発車するのぞみ博多行きはのぞみ「1」号である。）

基本的に時刻を表す数字には名鉄名古屋駅を出発する時刻が用いられるが、名古屋を通らない電車の場合は始発駅を発車する時刻が用いられる。例えば名鉄岐阜駅を6時台に出発する電車があったとして、その電車が名古屋を通り、名古屋の発車時刻が7時台になる場合には時刻を表す数字は「7」になるというわけだ。

ここで、表題にも掲げた通り、名鉄岐阜発須ヶ口行きの普通電車の列車番号を観察してみたい。なお、須ヶ口は名鉄名古屋の手前であるから、時刻を表す数字は名鉄岐阜駅を出発する時刻が用いられる。

6時台に名鉄岐阜を出発するもの：650列車、652列車、654列車、656列車の4本以下、列車番号のみ羅列する。

7時台：4750、4752、4754、4756

8-9時台：850、852、854、856、950、952、954、956

10-11時台：4050、4052、4054、4056、4150、4152、4154、4156

12-13時台：4250、4252、4254、4256、4350、4352、4354、4356

14-15時台：1450、1452、1454、1456、1550、1552、1554、1556

16-17時台：1650、1652、1654、1656、1750、1752、1754、1756

以降は省略。

7時台と10-13時台が不規則になっているのがお分かりいただけるだろうか。7時台は4000が足され、10-13時台は3000が足されていずれも4000番台になっている。なぜだろうか。

まず7時台に関しては、752列車が別に存在し、それと混同しないために岐阜発須ヶ口行きの普通電車で4000が足されていると思われる。ちなみに752列車は鳴海発豊明行きの普通であり、あの有名な774列車が鳴海で切り離す後ろ4両である。774列車に関しては、様々な方がそれだけのために動画を作るほどである。ぜひYoutube等で検索してみてください。

では10-13時台はどうだろうか。2019年3月16日のダイヤ改正（以下、本改正）以前はこの時間帯も1050…1356といったように他の時間帯と同じ付番方法だったが、本改正で変更になった。最初に見たときは目を疑ったが、実は本改正で運行区間が変更になった系統が関係しているのである。本改正では、金山と河和線方面（知多半田、河和もしくは内海）を結んでいた普通列車が一部、名古屋本線にまで足を延ばすようになった。金山発着であればギリギリ名古屋を通らないため支線独自の付番方法で良かったのだが、名古屋を通るようになると名古屋本線の付番方法に従う必要が出てくる。その結果これらの電車で1050C、1150C、1152C、…、1350C、1352C（時間の関係で1052Cは存在しない）という具合に列車番号がつけられた。そのためこれらの電車と混同しないように岐阜発須ヶ口行きの普通電車で3000が足されていると思われる。ちなみに末尾の「C」は、先述した通り常滑線・河和線を通る電車の列車番号につけられるアルファベットである。昼間に河和・内海と新鵜沼を結ぶ急行の列車番号には「A」が、中部国際空港と新可児を結ぶ準急（広見線内は普通）の列車番号には「F」がつく。どちらの系統も常滑線、河和線のいずれかを經由している。以上の例を見ると、名古屋を通る電車の列車番号が優先され、被った場合は名古屋を通らない方に数字が足されることが分かる。ここで、7時台で4000を足したのだから10-13時台でも同様にすれば良かったのではないかと、との疑問が浮かぶかもしれない。しかし、4000を足すと列車番号は5000番台になるが、実は5000番台は先にも触れた、中部国際空港と新可児を結ぶ準急（広見線内は普通）が使っているのである。この準急は系統を表す番号が「8」なので数字部分が完全に被ることはないが、ぱっと見たところ分かりにくいので4000番台でまとめてしまったのではないかと考えられる。

ちなみに、この問題は下り方向（須ヶ口発名古屋行きの普通）では発生していない。その理由について書きたいのはやまやまであるが、終わらなくなってしまいそうなのでこの辺りでやめておこうと思う。

『スダ美容室』～銀座に残る築90年のビルの一室～

三島慶幸

東京都中央区・銀座一丁目駅から三原通りに入ると、すぐ左手にレトロな茶色のビルが現れる。このビルは『奥野ビル』といい、1932(昭和7)年に建築された築90年の歴史ある建物である。現在はそのレトロさが人気となり、アトリエなどが入居している。



内部も基本的には往時のままで、年季の入った階段や手動開閉のエレベーターが訪問者を出迎える。

そんなこのビルの「306号室」は有志団体によって管理されていて、かつて(昭和60年代まで)営業していた『スダ美容室』が保存されている。部屋に入ると、昭和の美容室らしい丸鏡が目飛び込んでくる。



この『スダ美容室』の主(一人の女性)は、閉業後も2009(平成21)年に百歳で亡くなるまでこの部屋に住み続けたという。そのため今に至るまで内装に大きな修繕が入っておらず、戦前のハイカラ建築の雰囲気をはほそのまま体感することができる。基本的に1ヶ月に1回、毎月6日に無料で一般公開されているので、昭和レトロに興味のある方にお勧めしたい。

シェアサイクル、最近聞いたかも？

突然ですが、皆さん最近何か「シェアサイクル」に関する話題を耳にしませんでしたか？

近年急速に普及しており、メディアで取り上げられる機会も増えてきたシェアサイクル、存在すら知らないという方は少なくなってきたのではないかと思います。「よくわからなくて使ったことはない」「あるサービスは使ってるけど他のはさっぱり…」なんて方も多いはず。

そこで、今回はシェアサイクルの総合ガイドブックを制作しました。その名も『シェアサイクル完全攻略ガイド』です。シェアサイクルとは何ぞや？というところからサービス比較、各サービスの紹介まで、シェアサイクルのすべてが詰まった一冊になっています。それは盛ってるで



こうした紹介本はシェアサイクルのオタクとしていつか作らねばと思っていたものの、まだまだ知らないことばかりだし…となかなか制作に踏み切れず。記念すべき100回目のコミックマーケットにあわせてなんとか完成まで漕ぎつけられました。

SNSを眺めてると見かけるんです。「なんで満車だと返却できないんだ」とか「サブスクないの意味わからん」とかそういう不満の声。

違うんです。シェアサイクル事業者それぞれターゲットがちょっとずつ異なっていて、それに合わせてサービス内容にも大きささまざまな差が生じているんです。

万能なサービスなんてありません。各サービスの特性を理解し、使い分けていきましょう。この本を制作した意図はそこにあります。

そんなわけで、個人的にはサービスを統合しろという声にも賛同できません。むしろ複数社が同居する併設ポートの拡充を進めていくべきです（逐一会員登録するのはさすがに面倒くさいので、共通ID的なものが実現するといいなとは思いますが）。

さて、シェアサイクルはこの秋もまたさまざまな都市で導入される予定です。ぜひ今こそシェアサイクルの世界へ足を踏み入れましょう。世界が広がること間違いなしです。

（筆：長沢幸雄）

たまには1階席もいかがですか？

くびきの

皆さんどうもお久しぶり、覚えてますか？くびきのです。さて早速ですが皆さん、高速バスに2階建ての車両がいるのはご存知でしょうか？2階建てバスと言えば「はとバス」の屋根なしのオープントップバスが有名ですが、それ以外にもJRバス関東や京成バス、京王バスなどにも2階建ての車両が在籍しています（さすがに屋根はついていますが）。もしあなたがそんな車両に乗れるとなったらどこに座るでしょうか？きっと景色がいい2階席の一番前や窓側に人気は集中することでしょう。しかし、ここで私はあえて1階席をお勧めしておきます。理由を乗車記とともにいくつか紹介していきます。

2022年7月16日、富士急ハイランドで開催されたライブの余韻に浸りたくなかった私はせっかくの機会にと中央高速バスに乗ることに決めました。時刻表を確認するとすでに発車15分前でしたが、バスタ新宿の券売機は優秀なので乗車券を購入することができます。ちょうど、次の便が2階建て車両で運行されるとのことだったので「せっかくだし2階からいい景色でも眺めながら行こうかな〜」なんて思っていたわけです。実際に座席表から座席を選択しようとするとなんと「1番前」が空いていたんですね。これ



はもう勝ちだろうと優勝を確信して乗り場へと向かいました。しかし案内されたのは「1階席の」一番前の席、座席番号21Aだったら2階だと思っでしょ…。どうやら2階席は「01A」からだそうで…残念。とはいえこれは嬉しい誤算でした。バスタ新宿を発車してみるとなんと1階席には私しかおらず貸切状態！これがまず1つめのおすすめな理由です。1階席は日にもよると

は思いますがガラガラなことが多いと思われます。

バスは初台ICから首都高速4号線へ。この日は3連休初日の土曜日であったものの、時間が比較的早かったためか特に渋滞もなく、順調に高井戸ICから中央高速へと



↑思ったより眺望は悪くない

入りました。流れる車窓を見ながら思ったのですが、案外眺めは悪くないのです。1階席は眺めがよくないと思われがちですが、2階席の眺望にはさすがに劣ってしまうものの、前面展望もすることができます。きしっかりと景色を楽しむことができます。

スマホでTwitterを眺めたりうとうとしたりしているうちにバスは大月JCTから富士吉田線に分岐し、気づいたら中央自動車道の終点である河口湖

ICを通過していました。下道におりると富士急ハイランドの停留所は目と鼻の先、一息つく暇もありません。降りる準備をしているとすぐに停車し、扉が開きました。ここで3つ目のおすすめポイントです。1階席はなんといってもすぐに降りられるんですね。2階席だと荷物の準備が終わっても階段が急で狭いため1列でゆっくり下りなければならず、下車に時間を要しますが1階席ならその心配はありません。荷物の準備が終わったらそのまま前後の出口から降りればいいのです。なんてスムーズなんでしょう…。実際に私もとっとと下車しましたが、2階席の皆さんは降りるのにちょっと時間を要していましたね。

さて、ここまで2階建てバスの1階席のちょっとした魅力についてご紹介してきましたがいかがでしたでしょうか。そもそも2階建てバスを運行している会社はあまり多くないため、乗車する機会もあまりないと思います。しかしもし機会があれば、2階席にこだわるのではなく、あえて1階席に座ってみるのもいかがでしょうか？

それではまた、どこかでお会いいたしましょう。



日帰りで伊豆大島に行った話

コアラ

2021 年夏、伊豆諸島と本土を結ぶ東海汽船ではさるびあ丸とセブンアイランド結の就航一周年を記念して記念切符が発売された。その切符を利用して伊豆大島に行った話を書こうと思う。

夜 22 時、大慌てで退勤し銭湯に入り竹芝栈橋に到着、そして 1 時間で諸々の手続きを済ませ出航した。待合室が空港の待合室のような雰囲気だったので印象深い。

さるびあ丸は竹島栈橋を出ると東京湾を南に進んでいく。普段は見られない角度から東京の夜景を眺めるというのも乙なものである。

翌朝 5 時、船は岡田港に入港した。流石は最新鋭の船というだけありほとんど揺れず、朝までぐっすり寝ることができた。



バスで元町港へ移動し朝食を取る。焼き魚メインの島の朝ご飯は非常に美味しくこれだけでも大島に来たかいいがあるように感じる。

その後、元町で自転車を借り島内を一周することにした。

島内には地層の露頭や温泉など観光スポットが各地に散らばっており、

自転車を使って効率よく回ることができた。ちなみに、島内にはレンタカーもいくつかあるので三原山に行く人はそちらを検討してもいいだろう。帰りは最新鋭のジェットfoil、結に乗って東京へ戻り、竹芝栈橋から大急ぎで会社に向かい出勤する。たった 18 時間の船旅、たまにはこんな非日常もいかがだろうか。

ごあんない

◆「らるりんたす」とは…

らるりんたすの名はインドネシア語で「交通」を意味する“Lalu Lintas”に由来します。当サークルでは鉄道から路線バス・船、はてはシェアサイクルまで、ありとあらゆる交通関連の事物を扱っています。

◆各種サイト・関連 SNS

・ [らるりんたす 公式 Web サイト](#)

本会に関する各種情報を載せています。また、サイト内コンテンツとして公式ブログを用意しており、各種告知の他、メンバーが思い思いの記事を執筆しています。本誌をはじめ、会報誌「千曲の友」各号の公開も行っております。

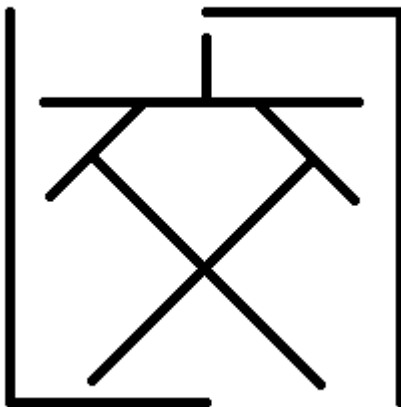
・ [らるりんたす 公式 Twitter \(@Lalulintas_ck\)](#)

らるりんたす全般に関する最新の情報はこちらをご覧ください。公式ブログや、一部メンバーの個人コンテンツの更新情報も投稿しています。また弊社コンテンツ「[全国バスデータベース](#)」に関しては @bus_database で投稿しております。

・ [らるりんすた\(公式 Instagram\)](#)

・ [らるりんたす 公式 LINE](#)

これらは現在試験運用中です。活用法を模索中ですが、もしよければ登録してみてください。





写真：関越自動車道

新刊予定の高速道路本を落としてしまいました。(いろはす)